

## 令和2年定例6月会議一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
近 藤 隆二郎	<p><b>小値賀町におけるオンライン診療の必要性と今後の見通しについて</b></p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、また医療崩壊の予防策として、「オンライン診療」が必要とされて拡大してきている。</p> <p>① 小値賀町モデルとしてのオンライン診療の今後をどのように考えているか。診療所と町民という島内関係と、診療所・島民と島外医療機関という島外関係がありうる。電話やスマホのビデオ通話を用いた診察や薬処方も考えられるのではないかと。</p> <p>② 長崎県が誇る「あじさいネット」の利活用やオンライン医療相談といったサービスの提供をどのように考えているか。</p> <p>③ とくに、精神科外来について現在は3ヶ月に1回であり、大変な不都合であると聞いている。オンライン診療を実施している精神科も既に多くあるので、それらと連携して毎月などの外来にできないか。</p>	町 長
今 田 光 弘	<p><b>アワビ種苗センター及びあわび館の今後について</b></p> <p>小値賀町のアワビの漁獲量は、1987年をピークに激減している。過剰漁獲や、地球温暖化の影響による海水温の上昇、それに伴う磯焼けなどが原因だと言われている。</p> <p>今後、ますます地球温暖化が進むと思われる中で、あわびの水揚げが劇的に復活するというのは考えにくい。また、漁業全体の衰退も言われて久しい。</p> <p>そのような中で、アワビ種苗センターの「小値賀町の水産業の振興と発展のため」、あわび館の「小値賀町の振興と発展のため」という設置目的が達成されているのか、そして施設の老朽化が進む中で、2つの施設を今後どのような方向に進めようとしているのか、町長の考えを伺う。</p>	町 長